

茨建協

ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2026.7 NO.684



いばらき建設フォトコンテスト 2025

Web作品 A部門 入選 『螺旋階段』 阿部和宏

CONTENTS

- チャリティーゴルフ大会が開催
- 経審改正セミナー実施
- 熱中症クールワークキャンペーン
- 各支部が講習会や献血活動

発行：一般社団法人 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

☎ 029-221-5126(代)

編集：日本工業経済新聞社・水戸支局

<http://www.ibaken.or.jp/>

善意寄付金を贈呈

第11回 支部対抗チャリティーゴルフ大会

本会は6月1日、第11回支部対抗チャリティーゴルフ大会を稲敷市のアスレチックガーデンゴルフ倶楽部で開催。集まったチャリティー金20万円は県アイバンクと茨城新聞文化福祉事業団に寄付しました。団体戦では土浦支部が優勝し、今年から創設された団体ベストグロス賞も受賞。個人優勝は男子が赤塚剛氏（土浦支部）、女子が野内美樹氏（大子支部）。ベストグロス賞を土浦支部の齋藤誠氏（グロス73）が獲得。また大会初のホールインワン賞を染谷正美氏（常総支部）が受賞しました。

大会には33組総勢132人（男子124人、女子8人）が参加。新ペリア方式で競いました。

石津会長はチャリティー金の贈呈について「本日、ご参加された皆さまに深く感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べました。



石津会長

チャリティー金を受け取った茨城県アイバンク常任理事の佐々木孝夫氏は「皆さま方の寄付で成り立っています。これからもよろしくお願いします」とあいさつ。

茨城新聞社の笹目悟営業局長も「皆さまからの善意は福祉活動と文化の維持に使わせて頂きます」と感謝の言葉を述べました。

成績上位の支部と個人は次の通りです（敬称略）。

【団 体】

- ◆優勝＝土浦支部
- ◆準優勝＝高萩支部
- ◆3位＝常陸大宮支部
- ◆ベストグロス賞＝土浦支部

【個人（男子）】

- ◆優勝＝赤塚 剛（土浦支部）
- ◆準優勝＝高田稔美（土浦支部）

- ◆3位＝久保田孝（土浦支部）
- ◆4位＝菊地和幸（境支部）
- ◆5位＝犬塚正一（潮来支部）
- ◆6位＝荒川繁美（水戸支部）
- ◆7位＝藺部正博（常総支部）
- ◆8位＝齋藤靖弘（大子支部）
- ◆9位＝端 孝男（常総支部）
- ◆10位＝丹 和信（高萩支部）
- ◆ベストグロス賞＝齋藤誠（土浦支部、グロス73）

【個人（女子）】

- ◆優勝＝野内美樹（大子支部）
- ◆準優勝＝仲川幸子（本部女子）
- ◆3位＝石井高子（本部女子）



ベストグロス賞の
齋藤氏



女子優勝の野内氏



団体優勝の土浦支部はベストグロスも受賞



石津会長（中央）が茨城新聞社の笹目営業局長（左）と県アイバンクの佐々木常任理事（右）に寄付

改正経審の内容解説 建設業実務セミナー

本会は6月15日、経営事項審査（経審）の改正をテーマとした建設業実務セミナーを水戸市青柳町の茨城県建設技術研修センターで開催。経営者や実務担当など234人が出席し、建設産業経理研究機構の土井直樹常任理事を講師に、7月1日施行の改正経審について主な内容を学びました。

今回の改正では、審査項目Wのうち雇用保険、健康保険、厚生年金保険の3項目が廃止される一方、自主宣言制度が新設されます。

また配点の見直しとして、建設キャリアアップシステムの導入で評点の上限が10点に狭められます。

さらに審査内容の見直しとして、建設機械保有台数の部分でアスファルト・フィニッシャ、不整地運搬車が追加されます。



菊地常任理事

全中建会長表彰を受賞



全国中小建設業協会の令和8年度定時総会（6月23日、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル）におきまして、全中建茨城の菊地和幸氏（本会常任理事、(株)五霞建設代表取締役社長）が、建設業振興功勞として会長表彰を受賞されました。まことにおめでとうございます。さらなるご活躍をご祈念いたします。

職場環境改善へ会員交流会

建女ひばり会



本会の建女ひばり会（柳瀬香織会長）は6月25日、ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸にて令和8年度の会員交流会（情報交換会）を開催。会員各社から約50人が出席し、これまでの活動報告や忌憚のない情報交換が行われました。柳瀬会長は「企業継続に向けて女性活躍の場は必要不可欠。このような交流会の場が職場環境の改善につながることを期待したい」とあいさつしました。

令和8年度計画を検討

経営企画委員会



本会の経営企画委員会（菊地和幸委員長）は6月24日、令和8年度の第1回委員会を水戸市の協会本部で開催し事業計画や勉強会の内容などについて話し合いました。菊地委員長は事業承継（M&A）や栃木県建設業協会との意見交換などこれまで実施した内容を振り返り「いろいろな事業を進めたい。M&Aの勉強会をブラッシュアップするなど、協力をお願いしたい」とあいさつしました。

人材の確保育成へ計画

人財開発委員会



本会の人財開発委員会（高橋修一委員長）は6月25日、令和8年度の第1回委員会を水戸市の茨城県建設センターで開催しました。当日は令和8年度の事業計画として、今年の活動や講習会について、委員会内で意見交換などを行いました。高橋委員長の下、人材の確保・育成に関する取り組みや、雇用改善に関する勉強会・研修会などを進めていくことを確認しました。

令和8年度計画を協議

土木委員会



本会の土木委員会（鶴田哲男委員長）は6月17日、令和8年度の第1回委員会を水戸市の茨城県建設センターで開催し、実施事業などについて話し合いました。鶴田委員長は、令和8年度に実施する活動事業について、各委員に協力を求めると共に、積極的な事業展開、忌憚の無い意見を期待しました。

死亡災害ゼロへ推進大会

建災防県支部



建設業労働災害防止協会県支部（石津健光支部長）は6月26日、令和8年度の建設業「死亡災害ゼロ」推進大会を水戸市の県建設技術研修センターで開催。安全講話や特別講演、大会決議を通じて死亡災害ゼロを皆で誓い合いました。石津支部長は「建設業が健全に発展していくためには、若者に選ばれる職場環境をつくり、労働災害を無くすことが最も重要」と呼び掛けました。

令和8年度総代会開く

県土木施工管理技士会



茨城県土木施工管理技士会（細谷武史会長）は6月16日、令和8年度総代会を水戸市の県建設センターで開催し、令和8年度事業計画などを承認。細谷会長は「地域の守り手としての役割を果たすため、経営基盤を強化し、人材・資機材・重機の確保が必要」とあいさつ。本年度は、土木技術者のスキルと地位の向上につながるセミナー、人材確保に向けた講習会も積極的に実施します。

課題解決へ意見交換

県建産連が総会



本会も加入している茨城県建設産業団体連合会（会長・石津健光本会会長）は6月25日、令和8年度定時総会を水戸市の茨城県建設センターで開催し、令和8年度の事業計画を決定しました。本年度におきましても意見交換や情報交換をより一層推進し、団体間の意思疎通を図りながら建設産業における諸課題の解決に向けて協力することを出席者で確認しました。

茨城西南広域消防と災害協定

境支部と常総支部

境支部（新井孝支部長）と常総支部（中川原勇支部長）は6月15日、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部（管理者・針谷力古河市長）と「災害時における消防活動の協力に関する協定」を締結しました。

消防本部のみでは対応が困難な消防・救助活動において、平常時から協力体制を構築することで、大規模災害等が発生した際に迅速かつ円滑に対応できる体制の確保を目指します。

新井支部長は「今後も消防本部の皆さんにご指導ご鞭撻をいただき一生懸命活動していく」とあいさつ。

続いて、中川原支部長は「地域の皆さんの生命と安全を守るためにこれからも総力を挙げて取り組む」と話しました。



境支部幹部と針谷管理者



常総支部幹部と針谷管理者

支部活動報告

水戸支部

安全管理と熱中症対策学ぶ



水戸支部（田口恵一郎支部長）は6月22日、県水戸土木事務所（成瀬真勝所長）、県造園業協会県北支部（海老澤康徳支部長）と、令和8年度現場担当技術者安全講習会を水戸合同庁舎で開きました。時間外労働規制や労働災害の防止、熱中症対策などに理解を深めたほか、関連製品の試着や試飲を行いました。

鉾田支部

資材高騰など議題に意見交換会



鉾田支部（羽生義隆支部長）は6月4日、県鉾田工事事務所（大和田尚所長）および鹿行水道事務所（佐藤孝一所長）と令和8年度第1回意見交換会を支部会館にて開催。羽生支部長は「地域社会に必要とされる業界として、優良なインフラ整備により地域の発展に貢献したい」と語りました。

太田支部

安全大会で決意新たに



太田支部（梅原基弘支部長）は6月23日、令和8年度第4回災害ゼロ推進安全大会を生涯学習センターで開催しました。安全優良現場および安全標語最優秀作品を表彰するとともに、時間外労働規制や労働災害防止をテーマに講演が行われ、参加した約110人が安全への意識を高めました。

潮来支部

鹿行地区安全大会で誓い新たに



潮来支部（松崎里志支部長）は6月24日、第24回鹿行地区建設業安全大会を鹿嶋市の高正U・Iセンターホール（鹿嶋勤労文化会館）にて開催。松崎支部長は「労働災害は周囲に大きな影響を及ぼす。熱中症対策や交通安全教育などを推進し、安全意識の高揚と快適な職場環境の構築を」とあいさつしました。

太田支部

景観維持へ源氏川沿い除草活動



太田支部（梅原基弘支部長）と建設未来協議会（内藤裕一郎会長）は6月5日、除草ボランティア活動を山吹運動公園の源氏川沿いで行いました。地域住民や観光客など訪れる人が景観を楽しめるよう、地域貢献活動に従事。梅原支部長は「熱中症対策を徹底しながら安全第一で作業を」とあいさつしました。

竜ヶ崎支部

安全講習会開き労災防止誓う



竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は6月18日、県竜ヶ崎工事事務所（見澤正勝所長）と令和8年度の公共工事における安全講習会を開催しました。労働災害防止や熱中症対策について講習。細谷支部長は「現場での目配り、気配りによって不安全行動は無くすことができる。緊張感を持って作業を」と呼び掛けました。

支部活動報告

土浦支部

県出先6機関と意見交換開く



土浦支部（小林伸行支部長）は6月24日、土浦土木事務所（中川一郎所長）など県出先6機関と令和8年度第1回意見交換会を開催。支部からは中東情勢悪化による資材不足・価格高騰など8項目を要望。小林支部長は「本年度の事業が本格的に始動する時期。意見交換会を有意義なものにしたい」とあいさつしました。

土浦支部

熱中症対策徹底へ県と安全講習



土浦支部（小林伸行支部長）は6月15日、令和8年度建設現場の安全管理講習会を県土浦土木事務所（中川一郎所長）との共催により開催しました。小林支部長は「管内は事業量が多いため労災のリスクも大きい。慎重に施工を進めてほしい。特に屋外作業では自発的に熱中症対策に努めることが必要」と述べました。

常総支部

課題解決へ県と意見交換



常総支部（中川原勇支部長）は6月11日、県常総工事事務所（松本隆弘所長）および県県西水道事務所（東ヶ崎祐二所長）と令和8年度第1回意見交換会を支部会館にて開催。県土木部施策の最近の動きや質疑応答などを通じ、建設業を取り巻く現状について意見を交わすと共に課題解決に向けた関係強化を図りました。

常総支部

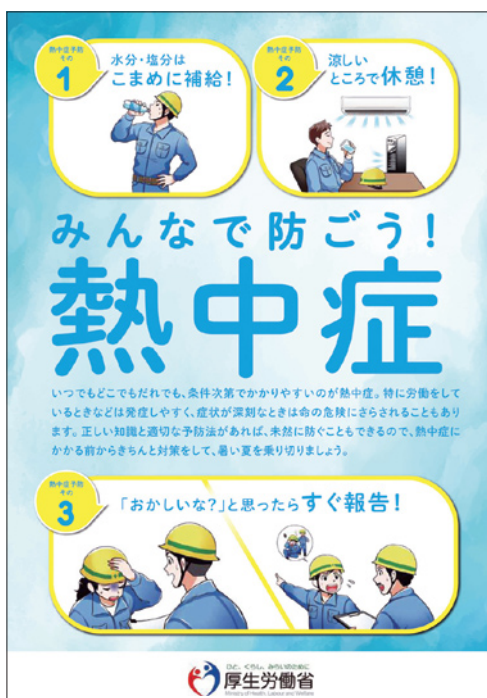
女性職員が迎賓館など研修視察



常総支部（中川原勇支部長）は6月9日、女性職員研修視察にて迎賓館赤坂離宮の見学と上野恩賜公園周辺の自由散策を行いました。研修視察には会員企業から31人の女性職員が参加。迎賓館赤坂離宮では、豪華絢爛な天井画や大理石の石柱をはじめ、シャンデリアや調度品などを熱心に見学しました。

建設現場を描いた図画 小中学生から募集

本会は、令和8年度「建設現場を描いた図画コンクール」の作品を募集しています。過去の作品や募集要項などは、本会ホームページ「図画コンクール」に掲載しています。



みんなで防ごう! 熱中症

常総支部

献血活動に協力

境支部

常総支部（中川原勇支部長）は6月4日、支部にて献血活動を実施。会員企業社員のほか、県常総工事事務所職員など120人が来場し、献血可能と判断された96人が貴重な血液を提供。中川原支部長は「社会貢献活動として始めた献血は23回目。毎年多くの人に参加していただきとても感謝している」と話しました。

境支部（新井孝支部長）は6月3日、社会貢献の一環として献血活動を支部にて実施。会員企業の社員や家族、県境工事事務所職員など41人が協力。参加者は、問診や診断の後、献血バスで貴重な血液を提供。新井支部長は「少しでも社会に貢献できればとの思いで、毎年6月に実施。今後も継続したい」と話しました。



常総支部



境支部

県内の受注機会確保 県土木部が国へ要望

茨城県土木部は5月28日、国土交通省常陸河川国道事務所を訪れ「国の直轄工事における茨城県内建設業者の受注機会等の確保」について要望。和賀正光部長は「地域の守り手として地元建設業が必要不可欠。持続的に発展していけるように、受注機会の確保が重要」として佐々木哲也所長へ要望書を手交しました。



佐々木所長（右）に要望書を
手渡す和賀部長

会員の動向

〈代表者変更〉

▽水戸支部

(株)潤沼建設工業 田中 弘美 → 野口 大輝

▽太田支部

珂北開発(株) 石崎 ちよ子 → 石崎 真史

▽竜ヶ崎支部

(株)セイビ 寺田 誠 → 熊谷 香織

平山建設(株) 平山 精作 → 熱田 幸子

令和建設(株) 由良 宣明 → 端 利一

▽常総支部

(株)磯建 磯 京子 → 磯 亮



電子化で、煩雑な申請や書類管理の手間を大幅に軽減できます。

オンラインで
業務効率化!

工事関係書類の
電子化にも対応!

発注機関等への
提出作業が軽減!

詳しい情報はこちら▶

建退共

<https://www.kentai-kyo.taisyokukin.go.jp/>



建退共

独立行政法人 労働者退職金共済機構 建設業退職金共済事業茨城県支部

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22 茨城県建設センター内 TEL. 029-225-0095